

2024年度5歳児年間カリキュラム

年間目標		・友達との園生活を楽しく、いろいろな遊びを意欲的に行なうとともに、基本的な生活習慣や態度を身につける。・人との関わりの中で社会における必要な態度を身につけ、主体的に行動し充実感を味わう。・自然や身近な事象に興味関心を持ち、豊かな心情や知的好奇心、探求心を高め、生活に取り入れる。・生活の中で言葉を使って表現する意欲を持ち、伝え合ふ喜びを味わう。・様々な表現を楽しみ、意欲的、創造的に遊びや仕事に没頭し、表現することの楽しさを味わう。・神様の存在を知り、聖書のお話を耳を傾け、最後の園生活の思い出をたくさん作る。																																																																																																																						
育てたい側面	子どもの姿	○年長組になったことの喜びや期待が見られ、年中児クラスからのつながりがある友達といっしょに遊ぶようになる。中には興奮感や不安感を持ちすぎない様子。ひとりひとりが自分で手を動かしながら年長児としての自覚を育ててきている。○戸外で活動することを好み、活動量も多くなる。進んで体を動かす心地良さを十分に味わっており、健康な体作りにつながりてきている。○友達といっしょな遊びや運動を楽しんでいる。友達とのつながりを深めていきたい。○身近な自然や動植物に親しみ、世話をすることの楽しさを味わわせたい。○年下の子どもと世話をしようとする姿を大切に。年下の子どもへのかわかりや、自分が頼られる喜びを味わわせたい。			○指示に対する理解が早くなるとともに、自分から進んでやりてみようとする意欲込みが見られる。環境からの刺激を取り入れて、新しいことにチャレンジする意欲を育てていきたい。○何らかの目的を持って遊びを進めようとする気持ちが強くなるが、互いに主張がぶつかりたり、考えが伝わらなかったりして、十分に楽しむ状態が保たれる。互いの考えに受け入れられようとする態度を育てたい。○相手の思いや考えに気づきながらも自己主張する姿がある。その葛藤のプロセスを大事にしながら、自分をコントロールしようとする気持ちを育てたい。○自分の自然現象や物事に対して興味や関心が高まり、友達といっしょによく見たり考えたりするようが見られる。自然体験、直接体験を豊かにし、ほかの子どもとの考えにふれ、試したり工夫したりして、新しい考えを生み出す喜びや楽しさを味わい、みずから考えようとする気持ちを育てたい。			○力いっぱい体を動かすことを好み、自分からの課題を持ってがんばろうとする気持ちが高まっている。また、みんなでもとつ目の目的を持って何かをやり遂げようとする姿が見られる。いろいろな運動遊びを通して、進んで物事に取り組み意欲と達成感を高く保ちたい。○生活経験が広がると同時に友達同士の会話も盛んになり、言葉の表現が豊かになる。自分が話すだけでなく、人の話を聞く態度を育てていく。○季節感を味わいながら、自然とじつじつかかわる体験を通して、感じる心を豊かにしたい。○地域の大人や高齢者と、自発的な生活の中でゆったりとかかわり、心を通わせる経験を大切にしたい。			○遊びの内容が豊かになり、また、友達の思いや考えを受け入れようとする姿が見られる。共通の目的を持ってグループの友達と考えたり工夫したりすることを楽しむ、みんなで取り組む喜びを、協力してやり遂げる充実感を味わわせたい。○知的好奇心や探究心が高まり、さまざまなことに積極的にいかかわろうとする姿が多くなる。思ったことを、感じたことを表現する意欲やイメージを実現する楽しさ、自然にかかわって活動するイメージ、知識を深める喜びを十分に味わわせたい。○ひとりひとりが大切に存在であることを知り、互いに尊重し合う大切さに気づかせたい。○よいこと、悪いことについて、自分で考え、判断できるようにしていきたい。			○もうすぐ入学という期待を持ちながら自分たちの遊びを十分に楽しみ、年長らしい積極的な行動が取れるようになってきている。友達とのつながりや生活を共にする喜びを十分に味わわせ、自覚と自他のある行動が取れるようになってほしい。○生活や活動の見通しがつくようになる。また、物事に積極的に取り組み、グループ同士交流し、それぞれ友達と相談したり工夫したりして活動を進めさせるようになる。この中で互いを助け、助け合いながら自分たちで主体的に生活を進めようとする態度をはくみきたい。○身近な自然現象や社会事象に対する関心が強くなり、身近なことかかわって疑問を持ちたり、知りたがりやになることが多くなっている。自分たちで話し合ったり、調べたり考えたりする態度を育てていきたい。																																																																																																										
		発達	Ⅰ期	Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		Ⅴ期																																																																																																														
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																																																																												
ねらい	○新しい環境、保育教諭(担任)に慣れ、友達との遊びや生活を楽しむ。○年長児としての意識を持ち、保育者や友達と張り切って生活をやる。生活に必要な決まりを守る。○春の自然を感じ、虫、木々、草花などに触れ			○友達とのつながりを深め、互いの思いを伝えながら遊びを進める。○自然や身近な環境とふれあい、見たり試したり考えたりして遊ぶ。○自分の力を十分に発揮して、運動や遊びに取り組む。			○戸外で体が十分に動かし、友達といっしょに遊びや生活を進める楽しさを味わう。○身近な自然や事象を見たり摸したりして、考えたり感動したりする。○感じたこと、考えたことをさまざまな方法で表現する			○遊びや生活の中で、共通の目的を持ち、工夫しながら活動に取り組む。○自分たちで考えたことを遊びの中で実現したり表現したりする楽しさを味わう。			○それぞれが自分らしさを大切にしながら、協力して遊びや生活を進めていく充実感を味わう。○身近な事象や事象に興味を持ち、興味を持ってかかわったり、考えたりして、生活を広げていく。○友達といっしょな活動に楽しんで取り組みながら、自分の思いや感じたことを豊かに表現し合い、互いの成長を喜び認め合う。																																																																																																											
指導内容の視点	○心と身体 ●健康 ●人との関わり ▼環境との関わり ●言葉の育ち ■表現する力	○十分に体を動かして遊び、進んで食事をすることを楽しむ。○園生活に必要な決まりを確認したり、自分たちが生活の場を整えようとする。○安全を心がけて、遊具や用具を正しく使う。○新しい場や年長としての生活の仕方や習慣を身につける。●年長児としての自覚を持ち、友達と遊びを楽しむ。●友達と楽しく生活する中で気持ちの大切さに気づく。●生活の中で必要な事を自分で考え自分で行動しようとする。●年少児の世話をし、親みへの気持ちを持つ。●人の役にたった事を認められ、誇りや楽しさを味わう。▼身近な自然に触れ、美しい空気や季節の変化に興味を持つ。▼身近な動植物に親しみながら世話をしようとする。▼自然物を利用して遊ぶことを楽しむ。▼シール帳のシールを貼る場所が、日ごとの掲示のみで理解して貼れるようになる。◆保育教諭や友達の話を注意して聞き、内容を理解する。◆自分の気持ちを相手にわかるように伝えようとする。◆いろいろな素材の性質を生かして、イメージを作ったり、感じたことを自由に描いたり、作ったり表現を楽しむ。◆友達と一緒に楽しく遊び、楽器を弾いたり、リズムに合わせて身体表現を楽しむ。																																																																																																																						
		○進んで戸外や水遊びに参加して十分に楽しみ、適切な休息の取り方にも関わらず、自分から気づいて、汗の始末や衣服の調節をする。○自分の体の開閉を持ち、健康な生活に必要な習慣や態度を身につける。○健康な生活のリズムを身につけて保育者や友達と楽しく食事をやる。○いろいろな運動に興味を広げ、十分に体を動かかし、ルールのある遊びにも進んで参加する。○自分なりに目的を持ち、挑戦していくこととする。○災害時の危険を知り、命を守ることが出来る。○遊びの中で相手の意見や感情の行き違いの中で、相手の気持ちや考えをわかろうとする。○寝たままではいろいろな遊びを友達と楽しむ。●生活に必要な決まりを自分たちで考え、理解して行動する。●生活に起こるいろいろな事象に興味を持ち、疑問に思ったことなどを自分なりに調べる。▼動植物の話を聞いて、命あるもの存在に気づき大切にする。▼動物園の生きた動物を見たり、収穫を楽しむ。▼公共の場での行動のしかたを理解してみんなで気持ちよく生活できるようにする。▼身近な用具の使い方に慣れ、安全に使う。▼自分の言いたいことをわかりやすく話すとともに、友達の話すことにも関心を持ち、よく聞く。■見たこと、考えたことを、いろいろな材料を使って、工夫して表現する。■歌謡やその世界を思い浮かべたりして、歌うことを楽しむ。■友達といっしょに、曲に合わせてリズムがわかるように歌う。■スキップ等ピアノに合わせて体を動かすことができるようになる。■絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう。																																																																																																																						
環境構成の要点	○子どもたちと共に生活の場を作っていくことを大切にしたい。その過程を通して年長組になっていく姿が持てるようにしていく。○のびのびと遊べる気持ちで生活がはかどいて活動の流れていく時間や場を構成し、ゆとりが持てるようにする。○園全体の保育者が気持ちを合わせて見守りながら、年少・年中児や年長児との気持ちの良い関係が持てるような雰囲気や環境を大切にしたい。○預かり・延長保育では、ひとりひとりがゆとりと通いやすいようひとりひとりにあわせる環境を整え、預かりして、家庭的な雰囲気をつくる空間になるよう配慮する。																																																																																																																							
	○気候や気温の状態に応じて、子どもの健康に配慮した遊びを行えるような環境を構築していくようにする。○遊びの場や道具を準備する。○身近な自然物とふれあう中で、自分たちの興味や疑問を追究したり、継続して成長を見守ることが出来る環境を工夫し、安全な大切さに気づくことにつながるさまざまな体験ができるようにする。○幼稚園の夏期保育(預かり保育も含む)では、夏ならではの遊びの環境を工夫し、午睡や休息に配慮した空間になるよう配慮する。																																																																																																																							
★保育者のかわり・援助(養護含む)	★年長組になった喜びと不安に揺れ動く気持ちを支えながら、ひとりひとりにくいねいにして援助する。★年長組になり切った気持ちで活動したいと思っっている気持ちを、役立ちたい気持ちを援助して、言葉や態度、具体的な活動を通して支える。★年度初めは、担任や職員の入替わりがあるため、職員同士、円滑なコミュニケーションを取り合い、子どもひとりひとりの特徴や性格、育養などをつかり把握して、安心して園生活が送れるようにする。★年長組になり、張り切って生活している姿を見守りながらも、長時間保育の中で、甘えを受けたり生活がきついたりして、落ちこぼれや不安を感じていく。★安心、安全、安定に支えられた園生活を基盤に、ひとりひとりの子どもの心のケアをしていくとともに、年長児として自分で考え、判断して行動できるようにひとりひとりにくいねいにかかわっていく。																																																																																																																							
	★友達関係を深めるために仲間になつたりアイデアを提供したり、相手の気持ちを理解し支えることができるように配慮したり、状況に応じた援助をする。★子ども同士の気持ちの違い、葛藤に十分につき合い、子ども同士で気持ちを切り替えることができるように援助する。★いろいろな遊びの中で、基本的な動きや技能を十分に経験できるように配慮し、ひとりひとりの発達や生活を見通して援助する。★自分の健康や体について関心を持ち、食べ物、運動、生活リズムの大切さなど子ども自身が気づいて理解するよう援助する。★気温や湿度が高いため、室温や通風に配慮し、水分の補給に十分にかける。★水遊びでは、水に十分に親ませるとともに、水の危険性についても伝える。★夏の肌を冷感するときの、ひとりひとりの体の開閉に柔軟に対応し、夏を健康に過ごせるようにする。子どもたちの体調については、家庭と連絡を密に取り合う。★夏季期間中は、職員の入れ替えがあるので、日々子どもたちのようすやアレルギーなどの配慮事項をいねいに伝え合い、安心して過ごせるようにしていく。																																																																																																																							
家庭や地域との連携 保育園・幼稚園・小学校との連携も含む	○近隣の小学校の施設を利用したりして、小学生と交流を持つきっかけをつくる。○年長児クラスで張り切って生活する姿を知らせ、親子で期待を込めてくれるようにする。○災害・緊急時の連絡方法や避難場所を確認する。○家庭のようすを聞いた上、園での姿を伝えたりしながら、保護者のひとりひとりととの信頼関係を築いて、保護者同士のつながりを強くしていく。○保護者に、子どもが自分でやろうとしている気持ちを支えて、成長の節となるように、認めることの大切さを伝えていく。																																																																																																																							
	○園庭や写真などでタイムリリーに子どもの楽しいようすを伝え、成長を保護者がうれしく感じられるようにする。○夏休みには子どもだけでなく仕事を手伝うことを知らせるとともに、家事を手伝う場を作るなど、家族の一員として生活していくことが大切なことを話していく。○子どもが試行錯誤しながら育っていくようすを伝え、温かく見守りながら助まることが大切さを理解してもらおう。○幼稚園では時間割の交流が深まっていくことから、友達の家でのトラブルや親戚との人間関係などで悩む保護者の気持ちに寄り添ってあげていく。同時に、困ったときは園に相談できるといふ信頼関係を大切にしたい。																																																																																																																							
環境構成の要点 り(保育者のかわり)	○年長組になった喜びや不安定な気持ちや気持ちを支えながら、ひとりひとりにくいねいにして援助する。○年長組になり切った気持ちで活動したいと思っっている気持ちを、役立ちたい気持ちを援助して、言葉や態度、具体的な活動を通して支える。○年度初めは、担任や職員の入替わりがあるため、職員同士、円滑なコミュニケーションを取り合い、子どもひとりひとりの特徴や性格、育養などをつかり把握して、安心して園生活が送れるようにする。○年長組になり、張り切って生活している姿を見守りながらも、長時間保育の中で、甘えを受けたり生活がきついたりして、落ちこぼれや不安を感じていく。○安心、安全、安定に支えられた園生活を基盤に、ひとりひとりの子どもの心のケアをしていくとともに、年長児として自分で考え、判断して行動できるようにひとりひとりにくいねいにかかわっていく。																																																																																																																							
	○身近な自然や物事に対して興味や関心が高まり、友達といっしょによく見たり考えたりするようが見られる。自然体験、直接体験を豊かにし、ほかの子どもとの考えにふれ、試したり工夫したりして、新しい考えを生み出す喜びや楽しさを味わい、みずから考えようとする気持ちを育てたい。																																																																																																																							
家庭との連携	・年長組になり、周囲からの期待が強くなってくるが、自分の子どもにも合わせて、負担に押しすぎないように注意してもらおうと共に、家庭での様子やできごとを、園での様子やできごとを、保育教諭(担任)と一緒に情報を交換していく。・家庭で用意する諸用品や毎日園に持参する持ち物など、すべて保護者が用意するのではなく、子ども自身で用意しようとする気持ちを育ててもらおう。クラス便りや呼びかけたり、提案をためたりする。																																																																																																																							
	・家のお手伝いをしたり、家庭の中で自分のできる役割をたりすることで家族の一員として生活していること意識できるように促してもらおう。・子どもが自ら試行錯誤して遊びや手伝いしている様子を見ながら見守り、自分の力で進められるよう援助する。・帰園後の友達との交流や保護者同士の間人間関係などトラブルが起きたときは、園に相談できるといふ信頼関係を大切にしたい。																																																																																																																							
月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月																																																																																						
歌	・チュリッポ・こいのぼり ・世界中の子どもたちへ												・かえるのうた ・たなびたさま												・おぼけなてないさ ・虫のえ												・どんぼのめがね ・こぎつね												・まつぼっくり ・クリスマス曲												・コンコクジャンのうた ・ゆき												・うれしいひなまつり ・まめまき ・さよならぼけちのようちえん																																															
製作	・折り紙(いちご) ・ミニ園式プレゼント ・母の日 写真立て ・当番カード(はじき絵)												・このぼり(デカルコマニー) ・折り紙(ローパー、てんとう虫) ・花の日訪問ポスター ・輪かの花、折り紙の花 ・輪かの花、折り紙の花												・てるてる坊主飾り ・水べんねのじみ絵 ・父の日 小物入れ ・輪の具のにじみ絵、貝貝り、蛇巻折のスイカ)												・しゃぼん玉アート ・七夕制作 ・絵の具のにじみ絵、貝貝り、蛇巻折のスイカ)												・野菜の絵(緑の具、2色を混ぜて緑色を作る) ・折り紙(魚)												・運動会の絵(クレヨン画) ・敬老の日 花と顔 ・感謝祭訪問ポスター *型にコスモス貼り(葉っぱ版画)												・折紙(ずり、くり) ・献金箱												・折紙(サンタ)												・折り紙(だるま)(オニ) ・雪の結晶天井飾り(飾り作り)												・卒園製作											